

---

ADULT ONLY

---

# GRENAADING

FRANCE/UNITED KINGDOM


FIZ

---

AXIS POWERS HETALIA FANBOOK


---






こいつが  
俺の前で泣いたら

そんな日が来たら



それは脆く煩わしく

その時は



抱きしめてやろう

この体を巡る血のように

俺たちを生かしている





そう言えば  
なんていつも

後ろから

そうか

そうか

深く 柔らかな場所が痛む

触れられず 在処さえ知らない

俺たちが使命の為に  
生まれたのならば  
不要であったはずのもの



あの赤が恋しい



あつ...

こいつも

暴れたり  
わめいたり  
すんのかな

想像できねーけど

すう





涙は濁いた

風が吹き光が行き交っている

ただ  
お前の零した血の跡だけが  
俺の胸に黒々とこべりついて離れない

そしてそれを  
洗い流せずにいるのだ



何かあったのか？

...

マシユーが  
ホテルに電話して  
決めるって

アーサー！

でもお前いまー

いや別に

今行く

お前

あれはもう過去なのだ  
憂鬱は去ってしまった

戻る事はないだろう

あんなに手を  
焼かせたくせに  
味気ねーな...

...いや

いつからそんなこと  
言えるようになったんだよ





あなたなりの  
愛なんですよ

最後はちゃんと  
選ばせるのが

見守って  
手放して



最近泣くとこ  
見てないな



おいこら  
聞いてんのか

…なんか言った？

今度の旅行の話！  
ホテル以外何処行く、  
決めてねーだろ

ああ  
そう言えば

お前らで決めて  
いいよ

俺は何度も  
行ったとこ



風が吹いて

光が行き交い

涙の跡は跡形もなく  
消え去っていた

あの人に優しくして  
あげてくださいね

ひとりでいる事に  
躊躇いがない人だから

放っておくと  
血まみれでも歩き出して  
しまうような人だから

僕にはとても  
引き止められ  
なかったけど

多分あなたになら  
助けを求められる

俺を  
買いかぶり過ぎだよ

俺はお前達が  
思ってるほど  
いいやつじゃない

あいつとの事だって  
流れが出来たからって  
だけで

これから  
どうなるか

フランシスさんて  
こういう事に  
慎重ですよ

もつと自信家  
なんだと思っ  
てましたけど

でも  
なんとなく  
わかります







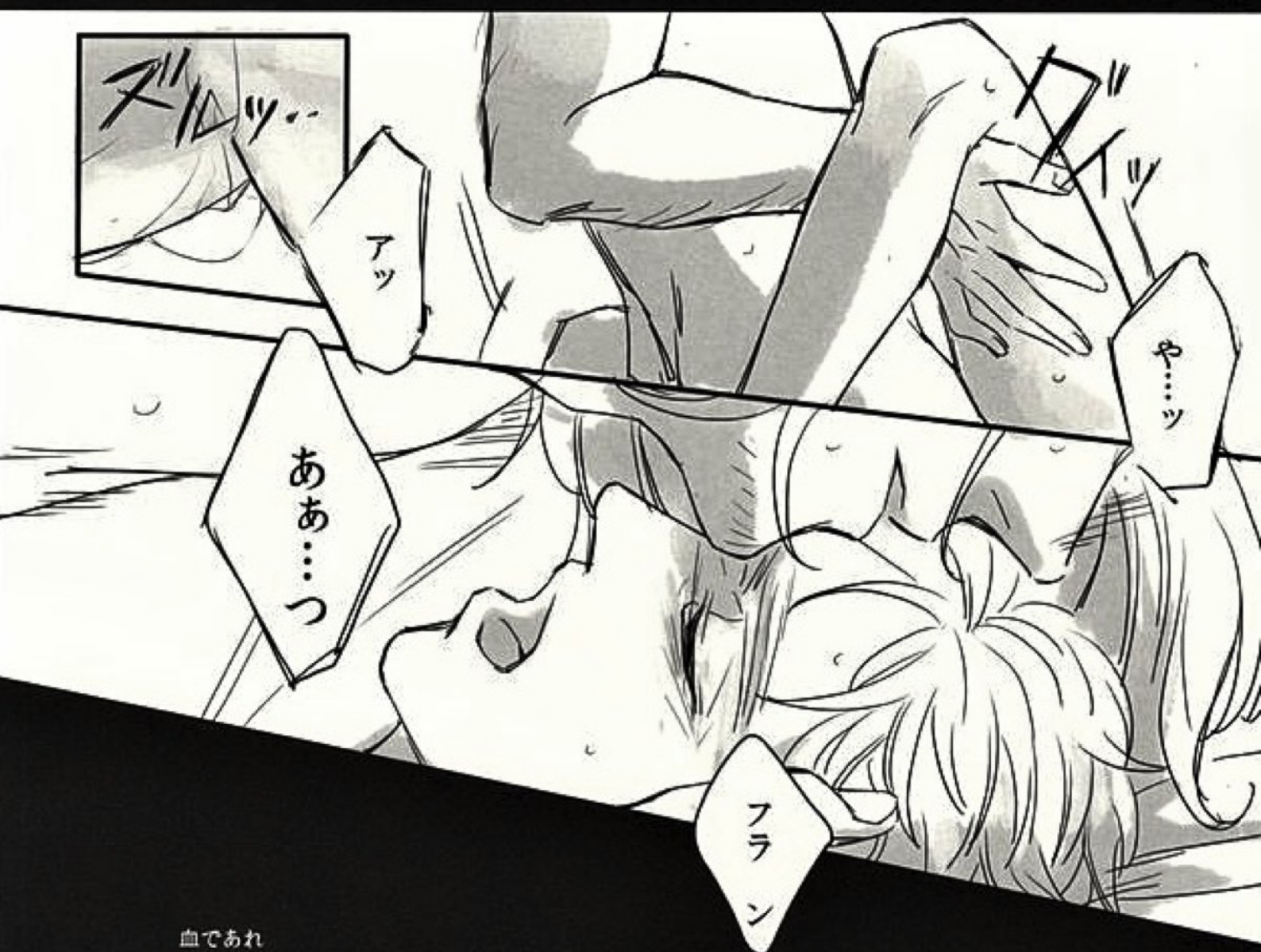


俺にはそれが





なんだっていい  
お前の憂鬱から零れるものなら



血であれ

涙であれ

行き場のない声であれ

…ッ



言い逃れ出来ないくらいに



歯止めの  
利かない所まで  
来てしまったのだ

じゃあ遠慮なく



昔は何もしなくても

傍にいてやるって  
言ったけどさ

今は理由なんか  
なくても  
お前を抱きたいよ

お前が血吐いて  
なくても

憎まれ口  
叩いてもら

俺たちの 役割は  
もうずっと前から決まっているのだ

それでもなければ  
お前は俺に甘えては  
来ないだろう



露骨なのはお互い様だ

涙も血で  
出来てるんだっけな

そう言えば





そうか

話してくれて

ありがとうな

何かを癒すには  
時間が必要なのだ

そしてそれに寄り添う  
受け皿のようなもの



お前が

血を吐くほど  
昔の事引きずってるなんて  
思わなかったからさ

最初は正直驚いたし  
悪いなとも思ったけど

あの時知れて  
良かった



お前と  
こうやってなれ合う  
口実になったし

それでもなければ  
俺たち変われなかったかも  
知れないだろ





僕をアルフレッドと  
見間違えようになつて



耐えられ  
なかつた



毎年心配に  
なるけど



フランシスさんが  
気付いてくれて  
本当に良かった



結局  
一番放っておいては  
いけない時に  
あの人をひとりに  
してしまった…

僕は僕の  
アイデンティティを  
優先してしまつたんです

この時期に会うのは  
まだ少し怖くて



やりたい  
だけじゃねーとか

綺麗ごと言いながら  
俺をかわいそうがって  
楽しんでたろ

俺が気付かないと  
思ってたのか

露骨なんだよ  
お前

俺が弱ってる  
時ばかり

優し過ぎる



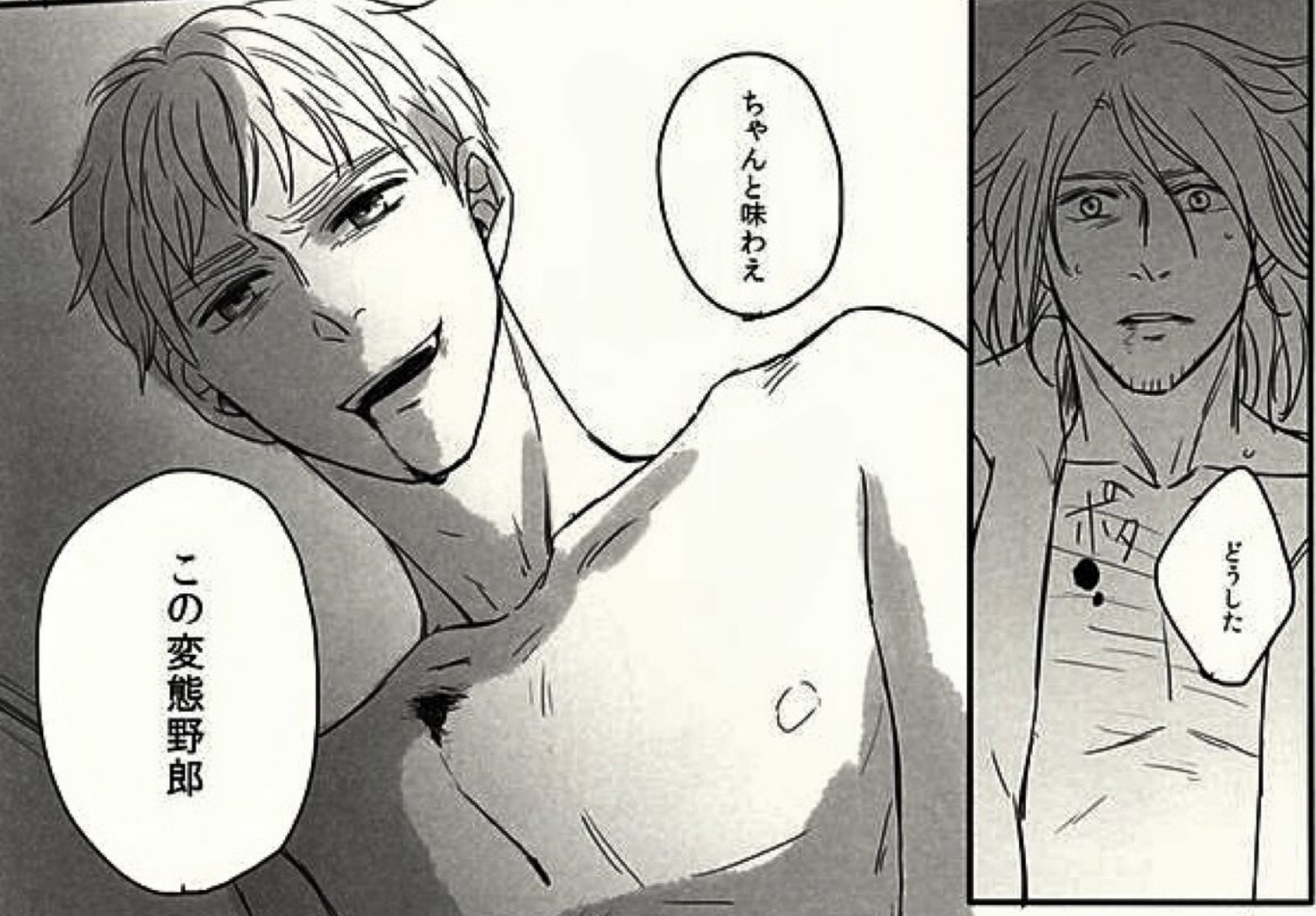
理由が必要だったんだ 俺たちには それがなければ どうやって触れ合ったらいいのか分からない



最初は何か出来る事が  
あるんじゃないかと  
僕なりに手を  
尽くしたんですけど…

ヨークタウンでの敗戦から  
あの人が少しずつ  
壊れて行くのを  
僕は黙って見ていました









お前  
弱ってる時の方が  
かわいいし

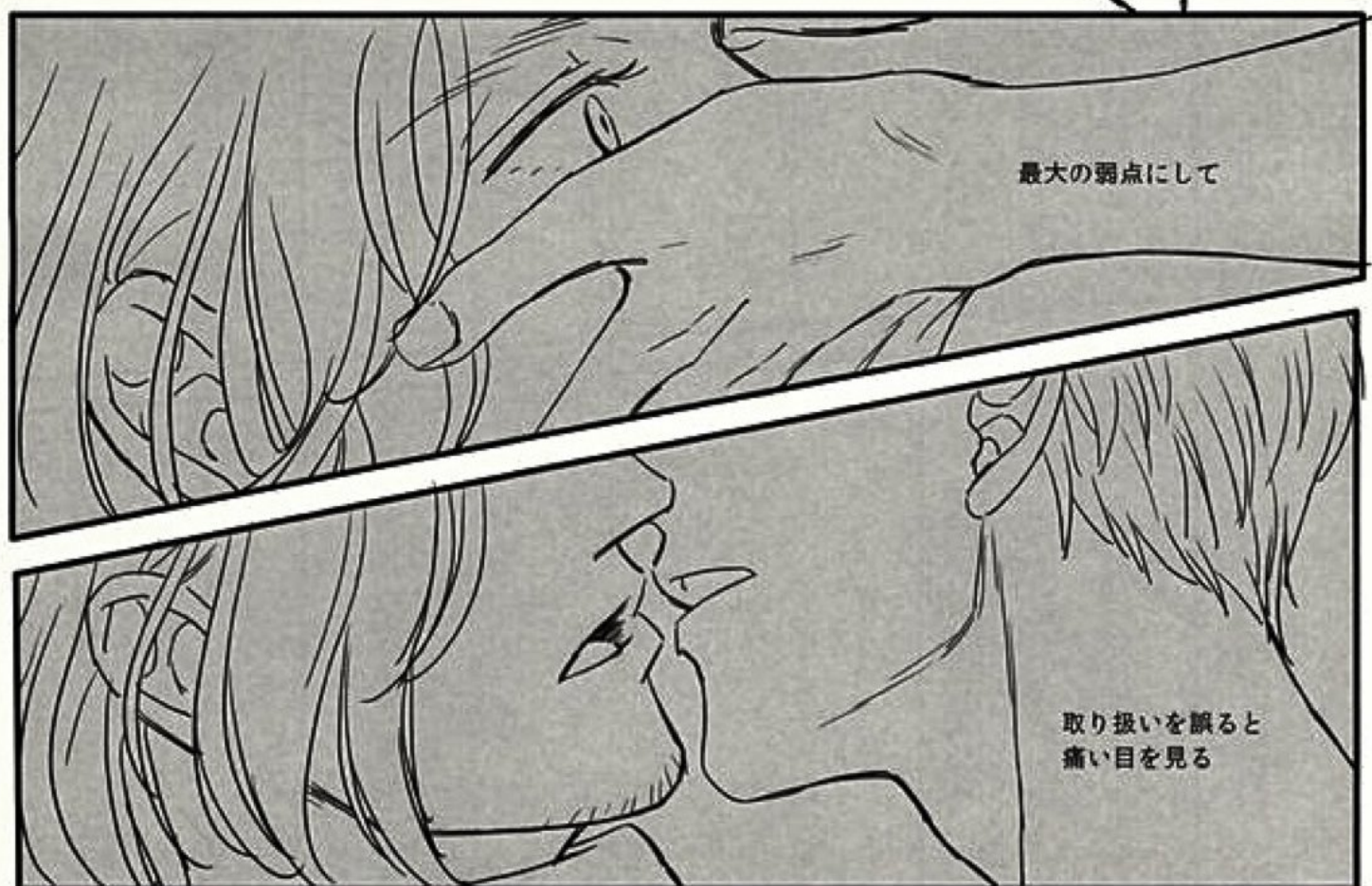
いって  
言ってるじゃん

ちゃ

わざとしや  
ねーんだろ



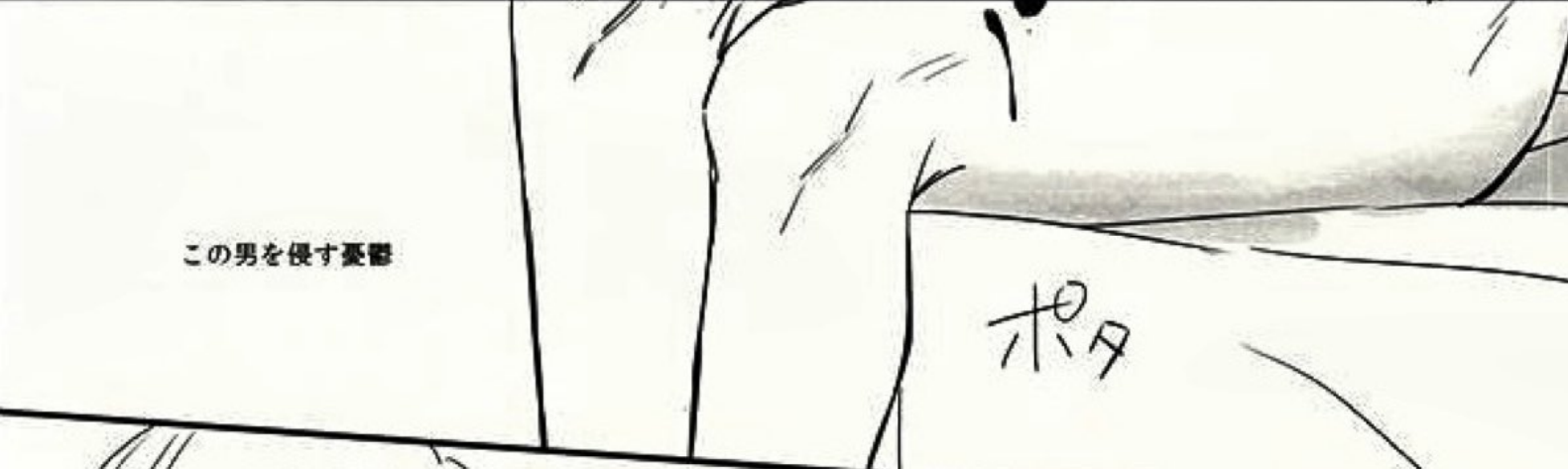
そーかよ



最大の弱点にして

取り扱いを誤ると  
痛い目を見る

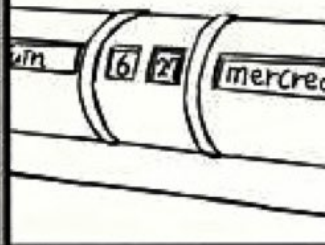








そしてそれを  
繰り返す



いまさらどこかに  
辿り着こうという  
気もない



変えられるとも  
思わない



きっと  
それでいいのだ



吐く時はわかんだよ  
安心しろ

どんだけこれと  
つき合っていると  
思ってたんだよ

無理すんなよ  
お前すぐ溜め込む  
じゃん

大丈夫か？

ああ







お前がさ



本当にきつい時は  
ちやんと言えよ

うさばらししたいって  
言うならつき合うけど



一緒に  
いてやるから

別になんも  
しなくても  
ここにいていいし

俺たちの間に確かな約束はなかった  
ただ  
驕りを見せるなら  
お互いであるという事

憂鬱と情性が作った  
形にならない何かで  
繋がっていた



そうして時間が

俺たちの体を  
通り過ぎて行く



元気そうだな





「本当は傷つきやすいのに」

気が済んだ？



ほら

髪くらい湯かせよ  
だからぼさぼさに  
なるんだよ  
お前は



さわんな

くそひげ



めんぱへんぱや





「僕たちの体って、酷い怪我をしても時間が経てば元に戻るでしょう？」

「そのせいなのかな」

「これは僕の印象なんですけど」

「あの人ってあまり自分の体を大切にしないというか」

「どうなったっていいという投げやりな所がある気がするんです」





これどうせひとり  
抜くんだろ

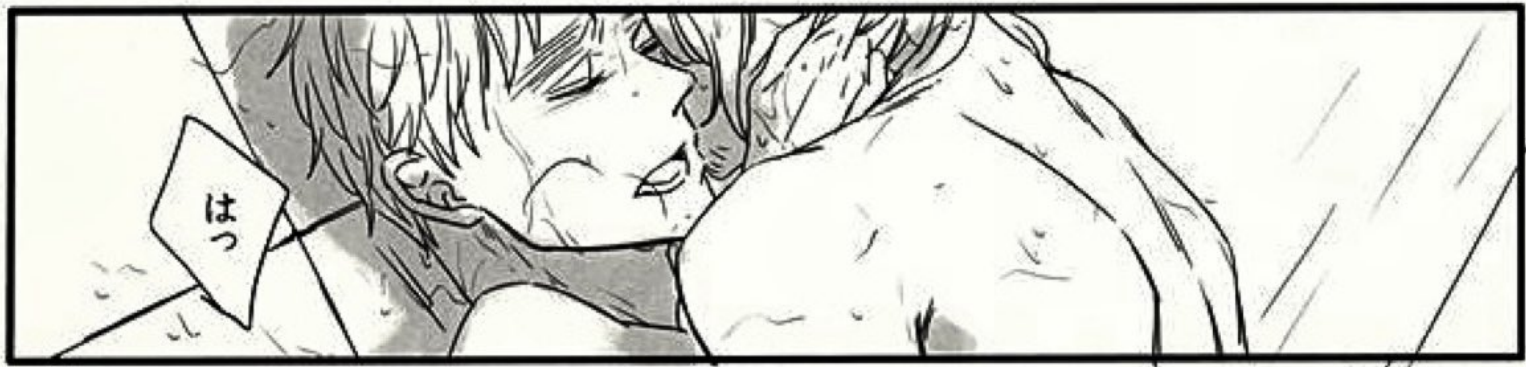
抜け駆けすんなよ

続きしようぜ



遠慮してんのか？

今更  
ビビってるわけでも  
ねえくせに



はっ



うあ

あ…っ

ッッ

頭打つから…

掴まっとけよ





なあ

今日は大人しくしといた方がいいんじゃないかねーの

無理してする事でもないだろ



いやだ



タオル濡らして持って来てやるから

じつとしてみよ



あれは

振り絞られた  
穏やかな悲鳴だったのだ







フランシスさん

告白が風に震えている

けれども

言葉のひとつは  
重さをもって落下して行った


地面に 小さなしみを作りながら





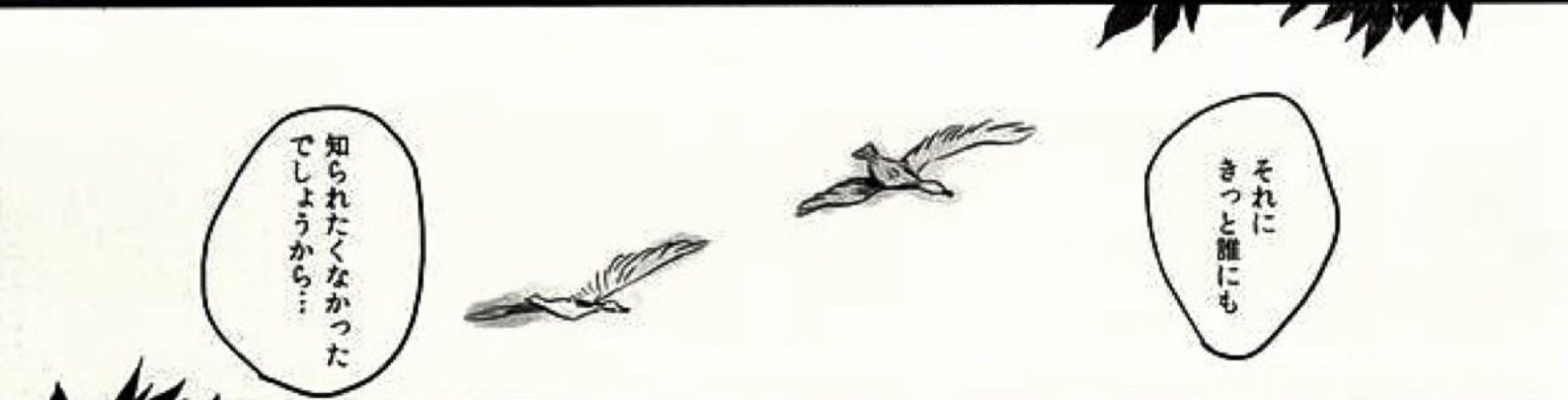
あの時の事は

誰にも話すべきではないと思っ  
ていたんです




時間があの人を  
癒してくれる  
はずなんだと

僕にはどうする事も  
できないんだと



それに  
きっと誰にも

知られたくなかった  
でしょうから…



今から話す事は  
僕の欺瞞であり  
懺悔です

聞いてもらえますか





この体は良く出来た作りで  
時間が許す限り  
俺たちの命は無限に等しく  
蘇生を繰り返す

それが 俺たちの長い命を支えている



けれども 仮に  
俺たちの仕組みを作った者がいるならば  
一つ聞きたいことがある

なぜ心だけが こんなにも脆い作りなのか  
触れられないので 直し方がわからない



— ADULT ONLY —

# **GRENADINE**

FRANCE/UNITED KINGDOM

AXIS POWERS  
HETALIA  
FANBOOK

**FIZ** 2015.  
10.04